

# 月刊しばうら

2016年9月号

## 大動物事業部

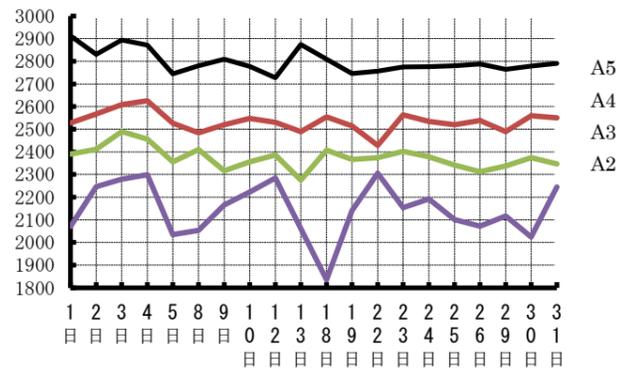
### ＜8月の相場動向＞

8月の牛枝肉相場は、和牛去勢 A5 が前月比 60 円安、A4 が 23 円安、A3 が 28 円安、A2 は 7 円高と前月に引き続き値を下げる展開となった。

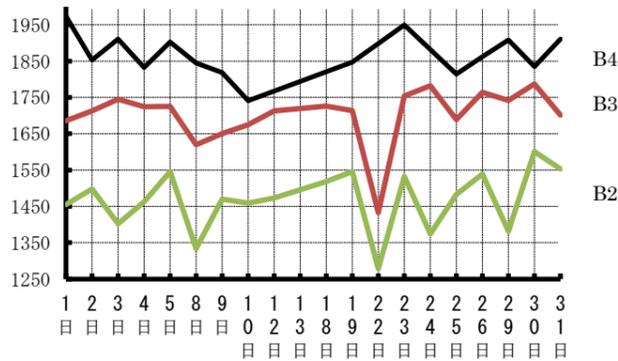
交雑牛は去勢 B3 が 9 円安、B2 も 9 円安と和牛の高値相場を受けて需要シフトする動きが散見されていたものの、和牛相場と同様に値下げした。

旧盆まで全国と畜頭数は 4,000 頭超の安定した出荷が続いたが、末端需要の落ち込みは旧盆の手当てにも響き、引き合いの弱い相場展開となった。

### 和牛去勢 日別相場表 (8月)



### 交雑去勢 日別相場表 (8月)



和牛去勢月平均	前年同月比	前月比
A5 2,799 円	112.4%	97.9%
A4 2,547 円	110.2%	99.1%
A3 2,379 円	108.8%	98.8%
A2 2,183 円	107.0%	100.3%
交雑去勢月平均	前年同月比	前月比
B4 1,857 円	104.7%	101.6%
B3 1,709 円	103.7%	99.5%
B2 1,481 円	98.1%	99.4%
乳牛去勢月平均	前年同月比	前月比
B3 上場なし		
B2 974 円	112.0%	94.8%

### ＜9月の全国出荷頭数予測＞

農林水産省統計部が発表した7月の食肉流通統計による全国のと畜頭数は、前年同月比 8.2%減の 9 万 143 頭となった。

うち和牛は同 10.0%減の 4 万 428 頭、乳用種は 10.5%減の 2 万 9,975 頭、交雑種は 0.6%増の 1 万 8,825 頭と交雑種のみ前年実績をわずかに上回っている。

農畜産業振興機構によると、9月の出荷予測頭数は、前年比 1.2%減の 8 万 7,100 頭と予測している。品種別にみると和牛は 2.7%減の 3 万 6,100 頭、交雑種は 7.2%増の 1 万 8,700 頭、乳用種は 3.8%減の 3 万 900 頭としている。東京食肉市場の9月のと畜頭数は 7,100 頭前後の見込みである。

### ＜9月の牛枝肉相場見通し＞

季節の変わり目でもあり、長引く末端需要の低迷からの回復に期待するところではあるが、和牛の高値相場の定着で量販筋での国産牛肉の売り場が縮小されることなどから引き続き和牛の相場は低調な推移が見込まれる。

一方で交雑牛は和牛からの需要シフトが進んでいるため底堅い展開が予測される。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,700~2,800	B4	1,800~1,900
A4	2,450~2,550	B3	1,650~1,750
A3	2,300~2,400	B2	1,450~1,550
A2	2,100~2,200		
乳牛去勢			
B3	1,050~1,100		
B2	950~1,000		

### ＜9月の牛肉輸入量予測＞

財務省の貿易統計によると、7月の輸入牛肉通関量は、今年の4月に続き3ヵ月ぶりの5万t台となり、前年同月比 24.6%増の 5 万 7,823t と 2 割増の増加となり、前月から見ても 1 万 8,434t 増となっている。7月は米国産が豪州産に対して安価となり価格差が出たため、米国産が前年に対して大幅増となった。

農畜産業振興機構は 9 月の牛肉輸入数量予測を前年比 13.4%減の 3 万 9,900t と予測している。チルドは、9.4%増の 1 万 8,600t で、豪州産は牛群再構築に加え、降雨による飼料環境の改善に伴う出荷頭数減の影響により減少が見込まれる一方、米国産は生産量の回復に伴い増加が見込まれ、フローズンは、前年を大きく下回る 26.7%減の 2 万 1,300t と予測している。

輸入牛肉通関量		7月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	10,535	10,197	103.3%
	米国	9,639	7,009	137.5%
	その他	882	702	125.6%
	合計	21,056	17,906	117.6%
フローズン	豪州	19,071	17,010	112.1%
	米国	13,776	9,201	149.7%
	その他	3,920	2,287	171.4%
合計	36,767	28,496	129.0%	

単位：t

出典：食肉速報

## 小動物事業部

農林水産省が発表した食肉流通統計によると、7月の全国と畜頭数は 125 万頭（前年同月比 94.5%）となり前年より減少した。

また、7月分の豚肉通関実績は、総量で 6 万 6,214t（前年同月比 91.4%）と前年より下回った。うちチルドが 2 万 7,759t（同 89.1%）で、内訳は米国が 1 万 6,252t（同 84.1%）、カナダは 1 万 566t（同 97.5%）に減少。メキシコが 936t（同 93.2%）と減少。フローズンは 3 万 8,455t（同 93.1%）と前年を下回り、デンマークが 7,853t（同 74.1%）、メキシコが 4,928t（同 99.7%）米国が 4,089t（同 64.7%）、カナダが 3,100t（同 90.6%）と軒並み減少した。

### ＜8月の豚取引の推移＞

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	56,000	475	458	945
2日	60,400	512	488	768
3日	55,200	495	475	638
4日	57,200	497	465	754
5日	61,500	503	472	861
8日	63,300	489	464	886
9日	65,300	509	481	976

上旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 5 万 9,800 頭と前年を上回る頭数であった。当市場においても平均 830 頭と前年を大きく上回る上場頭数であった。

7月から引き続きロイン系、特に肩ロースの荷動きが堅調。ヒレも同様であった。学校給食が止まりスソ物は鈍化するもウデの引き合いは良好であった。バラは荷余り感から凍結回しが増加した。全体的に国産よりも輸入チルドの荷動きが堅調であった。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
10日	66,100	509	477	800
12日	58,600	488	455	818
13日	56,300	499	468	703
18日	63,200	523	491	1018
19日	63,200	511	492	772
22日	59,700	511	494	715

中旬の全国と畜頭数は 1 日あたり 6 万 1,100 頭と前年を上回った。当市場は平均 800 頭と前年を上回った。

旧盆前の駆け込み需要もあり、ここにきてようやくバラの値動きが良化してきた。ロイン系は変わらず堅調な荷動きであったが、ヒレについては輸入物の荷余り感の影響から大きく値が下がった。モモの需要も鈍く凍結回しになるケースもでてきた。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23日	61,000	511	492	978
24日	55,100	503	481	584
25日	60,900	506	482	799
26日	60,500	496	470	937
29日	57,800	495	475	839
30日	59,100	501	482	845
31日	52,600	506	494	608

下旬の全国と畜頭数は、平均 5 万 8,100 頭と前年を上回った。当市場の上場頭数は 800 頭とこちらも前年を上回った。

学校給食の再開を見据えた手当てが始まり、鈍化していたスソ物需要も徐々に上向きになってきた。肩ロースの引き合いは変わらず強かった。国産の相場が安定していることもあり、量販店の輸入物からシフトする動きも見えてきた。バラはふたたび荷動きが鈍った。

### ＜9月の豚枝肉相場見通し＞

農林水産省による9月の全国と畜頭数は、136万7,000頭（前年同月比 102.0%）と予測しており、一日当たりの頭数は約 6 万 8,400 頭である。当市場の9月の集荷予定頭数は 1 万 7,000 頭となっており、一日当たりでは約 850 頭の見込みである。

また、農畜産業振興機構による9月分の豚肉輸入見込数量は、総量で 6 万 7,900t（前年同月比 106.0%）の予測となっている。内訳はチルドが 2 万 8,000t（同 98.6%）、フローズンは 3 万 9,900t（同 111.8%）と予測される。

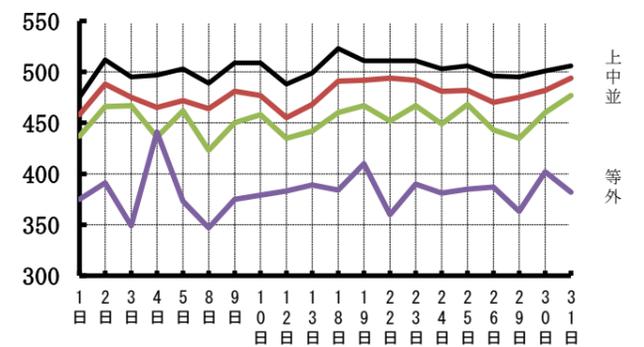
また6月における豚肉推定在庫量は、国産品が 2 万 1,152t（前年同月比 138.4%）、輸入品は 15 万 9,126t（同 91.8%）となり合計 18 万 278t（同 95.5%）となった。推定出回り量は 14 万 4,892t（前年比 103.2%）で前年を上回った。うち国産品は 6 万 9,018t（同 95.6%）輸入品は 7 万 5,873t（同 111.3%）であった。国内生産量は 7 万 1,337t（同 100.8%）と引き続き前年を上回った。

8月の全国と畜頭数予測は 10%増の見込みであったが、猛暑の影響などもあり生体の食いが悪く発育が遅れ、結果的に前年を下回る結果となりそうだ。旧盆は「山の日」と重なり長期連休となりやすく、首都圏の人口が散在するかたちとなり、家庭の消費は落ち着いていた模様であった。

当市場の上物価格は 475~523 円。中物 458~494 円と比較的安定して推移した。

28年度上半期(1~6月)の全国と畜頭数は 814 万 1,510 頭（前年同期比 102.9%）枝肉生産量は 63 万 9,778t（同 103.3%）であった。今年はお荷頭数が増加傾向にある中、8月の出荷遅れの部分がどのタイミングで出てくるか今後の相場動向のポイントになりそうだ。9月は上物 520 円。中物 490 円と予測する。

### 豚 日別相場表 (8月)



東京都港区港南2-7-19

東京食肉市場株式会社

TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127

URL <http://www.tmmc.co.jp/>

出荷者の皆様へ

PEDをはじめとする様々な病気を予防するため、東京食肉市場では防疫体制を強化しております。来場の際における生体車の消毒など、衛生担保のため、引き続き皆様のご協力をよろしく願いたします。